

神戸

▶本社報道部
TEL 078-362-7040

▶映像写真部
TEL 078-362-7047

e-mail
photo
@kobe-np.co.jp

きょうの天気

神戸	有馬
午前 ②	午前 ②
午後 ③	午後 ③
夜 ④	夜 ④
11 ⑤	9 ⑤
4 ⑥	0 ⑥

あすの天気

⑦	⑦
⑧	⑧

○数字は降水確率

→のち一時時々

素肌乾燥(28日)

神戸	油断大敵
有馬	油断大敵

(日本気象協会 関西支社)

垂水区 アメリカンフットボールの学生王者を決める「甲子園ボウル」で使われた芝生が舞子公園(垂水区東舞子町)に移設され、27日、オープンングセレモニーがあった。同大会で昨年、史上初の6連覇を遂げた関西学院大学アメフト部員も駆け付け、歓喜を味わった芝の上に再び立って高校生を指導。子どもたちが早速駆け回る姿もあった。

全日本大学選手権の決勝「甲子園ボウル」は毎年12月に甲子園球場(西宮市)で開かれ、内野部分にも天然芝が敷かれる。この芝生を再利用しようと、これまでメリケンパーク(中央区)などに移設。今回は、明石海峡大橋を望む舞子公園内の広場約2200平方メートルに植え、芝生がなじんできたため一般開放した。

セレモニーでは、関係者らが最後の芝生を植え込み、関学大のチアリーダーなどが迫力のある演技を見せて盛り上げた。訪れた地元の星陵高校アメフト部員は貴重な芝の上で、関学大の選手から直々にタックルやボールの奪い方といった

日本一の技術を学んだ。同高アメフト部主将の大野秀太さん(17)は「憧れる地の天然芝でプレーできて光栄。学校には芝がないので練習で活用したい」と語った。(大高 碧)



甲子園ボウルで使われた芝生の上で、関西学院大の選手から指導を受ける星陵高の選手ら(舞子公園)

「甲子園ボウル」の芝、舞子公園へ 移設式に関学大選手も

映画「ゴジラ」(1954年)を上映し、講談と落語でこの作品の歴史的意義を紹介するイベント「ゴジラ寄席」が2月3日午前11時から、OSシネマズ神戸ハーバーランドである。

市役所 東遊園



神戸市役所周辺のまちづき中央区加納町4

「ゴジラ」上映し
講談などで解説
来月、ハーバーランド

市役所とくまの場所、市民が持つ神戸への愛を具体化できる中心になるべきだ」と述べた。また、大阪のまちづくりに携わったコンサル会社取締役の依藤智士さんは「課題を乗り越えるには官民の連携も不可欠」と訴えた。

「甲子園ポウル」の芝、神戸・垂水の舞子公園へ V6達成の関学大アメフト選手も移設式に参加、高校生を指導

2024/1/28 05:30



神戸



甲子園ポウルで使われた芝生の上で関西学院大の選手から指導を受ける早稲高の選手ら＝舞子公園



アメリカンフットボールの学生王者を決める「甲子園ポウル」で使われた芝生が舞子公園（神戸市垂水区東舞子町）に移設され、27日、オープニングセレモニーがあった。同大会で昨年、史上初の6連覇を遂げた関西学院大学アメフト部員も駆け付け、歓喜を味わった芝の上に再び立って高校生を指導。子どもたちが早速駆け回る姿もあった。

■「憧れの地の天然芝」

全日本大学選手権の決勝「甲子園ポウル」は毎年12月に甲子園球場（西宮市）で開かれ、内野部分にも天然芝が敷かれる。この芝生を再活用しようと、これまでメリケンパーク（中央区）などに移設。今回は、明石海峡大橋を望む舞子公園内の広場約2200平方メートルに植え、芝生がなじんできたため一般開放した。

セレモニーでは、関係者らが最後の芝生を植え込み、関学大のチアリーダー部などが迫力のある演技を見せて盛り上げた。訪れた地元の早稲高アメフト部員は貴重な芝の上で、関学大の選手から直々にタックルやボールの奪い方といった日本一の技術を学んだ。

同高アメフト部主将の大野秀太さん（17）は「憧れの地の天然芝でプレーできて光栄。学校には芝がないので練習で活用したい」と語った。（大高 碧）



神戸

神戸線局
〒656-0035
神戸市中央区淡路町160
電話 078(331)4144
fax 078(331)4149
mail:kobe@asahi.com

別本支局
〒656-0024
神戸市山手1丁目2-12
電話 0799(24)1660
fax 0799(24)1662

購読のお申し込み
記号お問い合わせ
0120-33-0843
(7:00~21:00)

広告(土日祝除く)
神戸 078(321)2424
折込み広告 078(382)3101

あなたの「祝電」寄せて



昨年運行した卒業列車「祝電」＝能勢電鉄提供

能勢電 ヘッドマークとポスター募る

能勢電鉄(川西市)は2月21日、3月28日、車両を祝電マッセージで彩った卒業列車「祝電」を運行する。「卒業」「門出」「旅立ち」をテーマに、この列車に付けるヘッドマークのデザインと、車内ポスターのイラスト・マッセージなどを募っている。2月12日必着。

祝電は、春から新たな一歩を踏み出す沿線の利用者に向けて企画した。2020年度から運行している。今回で4回目。4両編成で、川西能勢口(川西市)―日生中央(猪名川町)間を走る。

ヘッドマークのデザインは2作品を募っている。採用されると、オリジナルへ

ヘッドマークとして祝電に取り付けられる。車内ポスターは96作品を募集。イラストやマッセージなど内容は自由だ。「祝電賞」(1点)、「ハートフル賞」(2点)、「のせでん賞」(3点)に選ばれ、オリジナルグッズがもらえる。



能登派遣消防隊 「恩返しできた」

甲子園の芝 栄光の土台

舞子に移設 関学生アメフト指導

能登半島地震で、緊急消防援助隊として豊岡市消防本部から石川県に派遣された隊員が25日、関貴久仁郎市長に活動内容を報告した。

15日から20日まで9人が派遣された。派遣消防隊員の宿泊場所の設営などを担当した吉谷正彦・後方支援小隊長(55)は「支援できる

ことはできたと思う」と話した。輪島市の土砂崩れ現場で、行方不明者を捜索する緊急消防援助隊。豊岡市提供

アメリカンフットボールの全日本大学選手権決勝・甲子園ポウルで使用された芝生が、阪神甲子園球場(西宮市)から舞子公園(神戸市垂水区)に移され、27日に開放イベントがあった。史上初の6連覇を達成した関西学院大学「ファイターズ」の選手も参加し、栄冠を勝ち取った芝生の上で高校生を指導した。

公園を管理する県園芸・公園協会などによると、芝生は甲子園ポウル翌日の昨年12月18日にはぎ取り、約5日かけて移設した。広さは約2200平方メートル。家族で遊んだり、スポーツで使ってもらったりすることを想定している。

同市垂水区の具立星陵高校アメフト部員が、ファイターズのメンバーからタックルやステップの指導を受けた。同校2年の大野秀太主将は「甲子園ポウルはアメフトをする学生が目指す場所。その芝生で練習できて光栄だった」。ファイターズの高崎琢主将は「芝生の感覚は変わらず、優勝の時を思い出した」と笑った。(小川聡仁)

豊岡市長に報告



石川県輪島市の土砂崩れ現場で、行方不明者を捜索する緊急消防援助隊

舞子所で体調不良を訴えた80代の女性を救急搬送した長砂友幸・救急小隊長(49)は、女性と避難所で親しくなったという2人にも同乗してもらった。「3人から、涙を流しながら『ありがとう』と感謝された」と語った。豊岡市でも被害が出た2004年の台風23

あすの暦	29日・中瀬	本
1月29日	神戸	9.05
(旧12月19日)	瀬	20.19
日出	7.00	20.51
日入	17.25	3.01
日出	20.38	15.02
日入	8.58	13.28
月動	17.6	6.02
		19.36

https://www.msn.com/ja-jp/sports/other/%E3%82%A2%E3%83%A1%E3%83%95%E3%83%88-%E7%94%B2%E5%AD%90%E5%9C%92%E3%83%9C%E3%82%A6%E3%83%AB%E3%81%AE%E8%8A%9D%E7%94%9F%E3%82%92%E7%A7%BB%E8%A8%AD-%E8%88%9E%E5%AD%90%E5%85%AC%E5%9C%92%E3%81%A7%E9%96%8B%E6%94%BE-%E9%96%A2%E5%AD%A6%E7%94%9F%E3%82%82%E5%8F%82%E5%8A%A0/ar-BB1hmyaD

朝日新聞デジタル (地域) + フォローする

アメフト・甲子園ボウルの芝生を移設、舞子公園で開放 関学生も参加

朝日新聞社 によるストーリー・1日



関西学院大学「ファイターズ」の選手が星陵高生にアメフトの指導をした=2024年1月27日午前11時32分、神戸市垂水区、小川聡仁撮影 © 朝日新聞社

アメリカンフットボールの全日本大学選手権決勝・甲子園ボウルで使用された芝生が、阪神甲子園球場（兵庫県西宮市）から舞子公園（神戸市垂水区）に移され、27日に開放イベントがあった。史上初の6連覇を達成した関西学院大学「ファイターズ」の選手も参加し、栄冠を勝ち取った芝生の上で高校生を指導した。

関西学院大学「ファイターズ」の選手が星陵高生にアメフトの指導をした=2024年1月27日午前11時34分、神戸市垂水区、小川聡仁撮影

公園を管理する兵庫県園芸・公園協会などによると、芝生は甲子園ボウル登日の昨年12月18日にはぎ取り、約5日かけて移設した。広さは約2200平方メートル。家族で遊んだり、スポーツで使ってもらったりすることを想定している。

同市垂水区の県立星陵高校アメフト部員が、ファイターズのメンバーからタックルやステップの指導を受けた。同校2年の大野秀太主将は「甲子園ボウルはアメフトをする学生が目指す場所。その芝生で練習できて光栄だった」。

ファイターズの海崎球主将は「芝生の感覚は変わらず、優勝の時を思い出した」と笑った。（小川聡仁）



関西学院大学「ファイターズ」の選手が星陵高生にアメフトの指導をした=2024年1月27日午前11時32分、神戸市垂水区、小川聡仁撮影

神戸 豊岡 明石



神戸総局 〒650-0023 神戸市中央区栄町通1-2-10
☎078-333-5115 FAX 333-5120

阪神支局	☎0798-23-2200
	FAX 23-2230
三田支局	☎079-564-6613
	FAX 564-6616
姫路支局	☎079-222-2431
	FAX 222-5010
豊岡支局	☎0796-22-6201
	FAX 22-6202
洲本支局	☎0799-22-0960
	FAX 22-0961
明石通信部	☎078-913-5477
三木通信部	☎0794-82-0040

ホームページ
www.yomiuri.co.jp/local/hyogo/
折込広告は ☎078-857-2791

ご存知ですか?
コブこうへアプリ

宅配の注文が簡単に見える! 店舗情報も見られる!

コブこうへアプリで検索

聖地の芝 舞子公園に 甲子園ボウル使用

神戸市垂水区の舞子公園に昨年12月のアメリカンフットボール・全日本大学選手権決勝「第78回甲子園ボウル」が使われた天然芝が移設され、オープニングセレモニーが27日、開かれた。

甲子園ボウルでは、普段は土の甲子園球場(西宮市)の内野部分に天然芝を張って開催している。一部は試合後に廃棄されていたが、県園芸・公園協会が働きかけ、舞子公園への移設が実現。設置から20年以上が経過していた約2200平方メートルの芝を張り替え、この日から一般開放された。

セレモニー後、史上初の



神大生ら 活動の心掛け報告

ボランティア活動への思いを語る学生ら(神戸市中央区で)

阪神大震災の経験を共有し、今後の取り組みを考えるシンポジウム「阪神・淡路大震災をどう受け継いできたか」が27日、人と防災未来センター(神戸市中央区)で開かれた。

シンポジウムは、神戸大地域連携推進本部と、人と防災未来センターが主催。震災直後に設立された神戸大のボランティア団体「神戸大学学生震災救援隊」の学生らが登壇した。

学生らは被災地の支援活動や震災の継承イベントの

被災地支援経験受け継ぐ 人と防災未来センターでシンポジウム

阪神大震災 30年へ

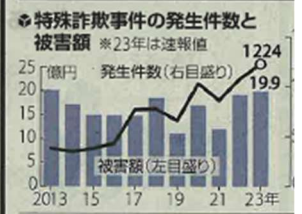
開催といった活動が続ける中で、日頃から心掛けていくことなどを報告。法学部2年の鈴木蒼生さん(20)は「被災者一人ひとりと話をし、本当に困っていることを聞き出すように意識している」と述べた。

学生らは今月、能登半島地震の被災地・石川県七尾市で、がれきの撤去や足湯の開設などのボランティア活動に取り組んだ。工学部3年の西畑克俊さん(21)は「被災者から被害状況などの話を聞き、「話ができるだけでもうれしい」と言ってもらった。時間の許す限り、活動に力を注ぎたい」と話していた。

◆読売新聞オンライン 読者会員登録で大阪本社版朝刊の各地域版が無料でご覧いただけます

特殊詐欺 県内昨

特殊詐欺事件の発生件数と被害額



特殊詐欺の被害者は高齢者が多数を占める。約100万円でだまし取られた川西市の女性(79)が取材に応じ、「催眠術で操られたみたいだった」と被害に遭った状況を語った。

昨年10月中旬の午前10時頃、自宅に大手小売店の従業員を名乗る男から「あなたのクレジットカードを使っていてる人がいるよ」と電話がかかってきた。

催眠術かかった

「の連続が柱次ぎ、複数回にわたって男が自宅を訪問。キャッシュカードとクレジットカード計6枚を渡し、暗証番号を電話で伝えた。翌朝、銀行からの連絡で被害を知った。

「なされたまされたのか。電話で「自宅がばれている」などと不安をおぼり、冷静な判断をさせない犯罪グループの狡猾さ。過去にオレオレ詐欺を見破って警

察にすると、被害者の多くは自らを責め、口をつぐむという。女性もさき込んだ時期があった。県警から「できる限り周りに話をし、「言われ、少しだけでも被害を減らせるなら」と話すようになった。

女性は「悲しみより、夜も眠れないほど悔しかった。そんな思いをしてほしくない」と願っている。



甲子園ボウル6連覇を果たした関西学院大の選手が、地元の県立星陵高校の部員らにステップの踏み方などを指導した。関学大4年の海崎球主将(22)は「4年間の思い出が詰まった芝。県内のアメフトの聖地になってほしい」と語り、星陵高2年の大野秀太主将(17)は「アメフト選手なら誰もが目指す舞台の芝が地元に移設されてうれしい。練習でも使いたい」と話した。

- ▲移設された芝の上で関学大の選手から指導を受ける星陵高の部員ら(神戸市垂水区で)
- 二遊間
捕手 大野 秀太
一塁手 大野 秀太
二塁手 大野 秀太
三塁手 大野 秀太
遊撃手 大野 秀太
投手 大野 秀太
内野手 大野 秀太
外野手 大野 秀太
控え 大野 秀太

https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/news/20240128-OYO1T50003/

甲子園ボウルの芝が神戸・舞子公園に... 6連覇の関学大主将「県のアメフト聖地に」

2024/01/28 10:40

この記事をスクラップする



神戸市垂水区の舞子公園に昨年12月のアメリカンフットボール・全日本大学選手権決勝「第78回甲子園ボウル」で使われた天然芝が移設され、オープニングセレモニーが27日、開かれた。



移設された芝の上で関学大の選手から指導を受ける星陵高の部員ら（神戸市垂水区で）

甲子園ボウルでは、普段は土の甲子園球場（兵庫県西宮市）の内野部分に天然芝を張って開催している。一部は試合後に廃棄されていたが、県園芸・公園協会が働きかけ、舞子公園への移設が実現。設置から20年以上が経過していた約2200平方メートルの芝を張り替え、この日から一般開放された。

セレモニー後、史上初の甲子園ボウル6連覇を果たした関西学院大の選手が、地元の県立星陵高校の部員らにステップの踏み方などを指導した。関学大4年の海崎琢主将（22）は「4年間の思い出が詰まった芝。県内のアメフトの聖地になってほしい」と語り、星陵高2年の大野秀太主将（17）は「アメフト選手なら誰もが目指す舞台の芝が地元に移設されてうれしい。練習でも使いたい」と話した。



ASKUL アスクル法人向け公式...
アスクル - askul

rnn1